



もりよし

年頭御挨拶

町長 赤石元治

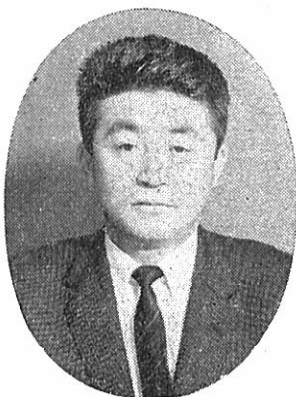


新年明けましてお目出度う御座います。
昭和四十四年、そして明治百一年の極めて意義深いお正月を皆様と共に明朗かつ御健にお迎えすることの出来たことはこの上ないと思ひます。

又、その日、その日が最もであるように努力することによりまして三百六十五日を振り返って悔のない一年であることを念ひ、皆様の御支援を切にお願いいたします。

先づ昭和四十三年年度の町の平常以外の主な事業として、まして米内沢小学校の設備内容と、年度内竣工が予定されております町民体育センター、給食センターの建築であると思ひます。この財源は吾々の先輩が粒々辛辛、いわゆる苦節五十年の蓄積が実を結んだものでありまして、高恩は片時も忘れてはならないと思ひます。

開発に協力を望む



森吉町議会議長 北林 照助

明けてましてお目出とう御座います。
昭和四十四年の政府予算は略ぼ決定致しまして、当町に關係のある大野台開発に調査費が認められ、また国道一〇五号線、前田奥地の観光の開発、山腹畜産、に到る奥産道路にも昨年以上の予算の獲得が出来る見通しとなりまして事は新春の明るいニュースであります。地城選出の国会議員を始めとする関係者の努力に心から感謝を申し上げます。

一昨年度奥産道路として認められ一級国道並みの青写真が出来、昨年から予算が計上されました。愈々実施の段階になり用地の買収で関係者の協力を得られ

発行所 森吉町役場
編集 総務課
印刷所 米内沢 中央印刷所
発行部数 3,600部
1部 6円

の沢温泉を含む総合開発の実施を地域事業の性格のもとに鷹巣、阿仁部の五カ町村と関係機関の御指導、御協力をいただきまして早急に邁進致したいと存じます。また山村振興と林業構造改善事業の問題も昭和四十五年実施を目前に申請をなし昭和四十四年度中に計画と準備を地域の実体に基づいて進めたいと思ひます。



あけまして
おめでとう
ございます

「防火の日」には下のとうおねがいします。
一、午前七時 三十秒間
一、午後九時の時報後
十秒おいて三十秒間
びに整備点検を怠らないよう



(1月1日米内沢農協会館で行われた新年祝賀会であいさつする赤石町長)

森吉町議会

議長 北林 照助
副議長 佐藤 新太郎

議員 三浦 富三郎

板垣 清
佐藤 富郎
春日 直松
奥田 逸郎
金 仁一郎

鈴木 鉄之助
羽場 盛一
片岡 徳二郎
桜井 正七
伊藤 小四郎

加賀 勝雄
春日 多助
九島 利吉
松淵 光一
春日 一嘉

高島 昭二
金 兵一郎
石川 作治
神成 長
奥田 信明

監査委員 金 逸郎
三浦 富三郎

森吉町役場

町長 赤石 元治
助役 三沢 栄明
収入役 木村 長治郎

総務課長 佐藤 正一郎
税務課長 九島 三郎
民生課長 佐藤 徳松
産業課長 菅原 道雄
建設課長 三沢 栄明
(兼務)
前田支所長 清水 常松
ほか職員一同

森吉町教育委員会

委員長 木村 泰二郎
委員 白沢 喜和治
委員 佐林 幸吉
委員 藤田 甫男
教育長 長崎 佐太吉

森吉町公民館

館長 長崎 佐太吉
米内沢公民館長 鈴木 勝治
前田公民館長 庄司 喬吉

森吉町農業委員会

会長 奥田 信吾

森吉町消防団

団長 庄司 兵藏
副団長 柴田 直松

内沢農協ビル、円内は組合長松橋久太郎氏)

善意だより

香典返しに

一万八千円

米内沢 磯谷仁三郎氏

米内沢新町磯谷仁三郎氏は、先に逝去された父仁吉氏及びその妻リョ氏の忌明けにあたり、この程、町社会福祉協議会に一万八千円を寄せられました。

分にあたっては婦人会にお願ひしました。

叙位叙勲の伝達式

前田地区 (二十九名)

昭和四十三年二月から七月までに発令がありました過さし大戦において散華された戦没者の遺族に対し、勲章並びに叙位の伝達式が去る十一月二十日午前十時役場会議室(米内沢地区)同日午後一時前田公民館(前田地区)で行なわれまし(伝達された方々は次のとおりです。

米内沢地区 (三十名)

戦没者 住所 遺族

九島 正直 向本城 浩

後藤常三郎 学校通 竹五郎

金 安太郎 向本城 ときえ

武石 三郎 勝太郎

片岡留三郎 浦田 ツネ

田中留次郎 カン

武石 幸助 留吉

安東喜久治 学校通 喜智郎

北林市太郎 大町 兼松

佐藤 広治 鶴田 亀治

福田 久治 新丁 久雄

金 与之助 本城 運動

金 彦治 キュ

石崎 太七 ツネ

石崎 末吉 寄延 ヨコ

小林 繁三 浦田 リュ

柴田 繁治 大淵 隆男

佐藤 林治 鶴田 国男

田牧 喜助 大杉 勝波

橋岡 喜助 長野 トシエ

柳山 岩治 浦田 ミチ

久住 民治 ク 伝治

秋元 勝雄 ク 神成小太郎

赤石作太郎 新丁 イクエ

松橋文一郎 川向 文之助

高杉 民蔵 浦田 栄蔵

石崎 八夫 寄延 サヨ

高岡 福治 新丁 ハル

工藤三郎 寄延 善一郎

渡辺 勇蔵 大淵 トメ

佐藤 文治 佐藤 フミ

黒田藤之助 小又 トクエ

宮野為之助 冷水 頼一郎

庄司 照一 八幡森 久美治

庄司 作治 作右エ門

冬山安全登山の心得

日程……切つめた日程は危険です。夜行列車で着いてすぐの強行登山はしないようにしなさい。

単独登山……単独登山は遭難事故を起こしやすいので絶対にやめなさい。

リーダー……冬山に正しい知識と経験のある人を選びなさい。

コースの研究……目的の山とコースを事前に研究して行動計画をたてなさい。

準備

食糧は十分用意し、予備動かしなさい。

山の手帳

天気予報をよく聞いて行動しなさい。

山の天気

食も考えるように、肌着は毛製のものを用いるように、応急薬品や非常食も用意しなさい。

登山の数日前から体力の調整をしましょう。トランジスターラジオは必ず携帯して気象状況をよく聞きなさい。

天気が変わる予兆がわかれば、早目に避難しなさい。

最寄の警察署に登山計画を必ず提出して下さい。登山計画書の用紙は森吉山岳会に連絡して下さい。

ピッケルの使用訓練も十分にして下さい。

登山カードには必ず記入してから登山しなさい。

気温が下がると、なだれや落石が起きやすいため注意しなさい。

雪を踏みはずさぬよう

山の天気は午前中はよくても午後には荒れることが多いので早朝に行動するようにして下さい。

天気が良くても荒天にそなえる準備を忘れないで下さい。

危険な場合や悪天候の予想される場合は思い切って引返しなさい。

ピッケルの使用は正しくピッケルは登山するときのほかに横に背負わないようになさい。

グループの連絡は緊密に行動も互いに協力しなさい。

(森吉山岳会)

保育所入所受付中

昭和四十四年度保育所に入所する申請書の受付時期が近づいて来ましたが、満三才以上の男女児童が入所することが出来ますが、児童福祉法によつて定められている基準があり、誰れでも入所できるというものではありませんが、入所させたい方は申請して下さい。申請書の用紙は、役場、

の事情にある場合です。①から④までの場合はその家庭の母親以外の人が児童の保育ができる場合は除かれます。

① 家庭外労働 児童の母親が昼間家庭の外で仕事をすることが普通なので、その児童の保育ができない場合

② 家庭内労働 児童の母親が昼間家庭で仕事をしながら、かつ、児童の保育ができない場合

③ 母親のいない家庭 母親の死亡、行方不明、拘禁などの理由により母親がいない家庭で、かつ、同居の親族その他の者がその児童の保育ができない場合

④ 母親の出産等 母親が出産の前後であり、または病気の状態であったり、心身に障害があるためその児童の保育ができず、かつ、同居の親族その他の者がその児童の保育ができない場合

⑤ 病人の看護等 その児童の家庭に長期にわたる病人又は心身に障害のある者があり、母親がいなくても看護にあたりその児童の保育ができず、かつ、同居の親族その他の者がその児童の保育ができない場合

⑥ 家庭の災害 火災、風水害、地震などによつてその児童の居宅を失い、又破損した場合において、その復旧のため、その児童の保育ができない場合

出稼ぎ先から



(役場大会議室に於いて行われた叙勲の伝達式の様子)

前略 先月私儀当社赴任の際はいろいろ御協力下さいました。当社ではこの周辺工場地でも、もはんお蔭様で元氣一ぱい、日夜はげんでおります。

会社の方々とともに親切に細かい所までサービスが行きとどいて不平を云う事は一つありません。

また職場のみならず友達の様にあたたかい気持ちで何事にもおうじて対話してくるの、張合があります。仕事の方は機械をやっております。天候の方ですが郷土はうごきまします。

大変嬉しく拝見致しました。ここ松本精練所には、秋田県から、阿仁町一人、森吉町から十四人来ておりますが、みんな元氣で仕事に励んでおりますのでご安心ください。

私も今では、仕事、寮生活にもすっかり慣れ、楽しんでおります。

これからは一生懸命、頑張りますのでよろしくご指導お願い致します。

乱文乱筆にて失礼いたしました。

長野県松本市市一丁目 七の一 松本精練所 武石 和子 (米中就職生)

金 納期限です

未だ十月・十一月・十二月分の保険料を未納している人は部落担当の年金委員又は役場に持参の上納めて下さい。

成人の日と国民年金 一、二十才になると法律的に成人の日と国民年金の日でも、社会的にも成人として

昭和四十三年二月から七月までに発令がありました過さし大戦において散華された戦没者の遺族に対し、勲章並びに叙位の伝達式が去る十一月二十日午前十時役場会議室(米内沢地区)同日午後一時前田公民館(前田地区)で行なわれまし(伝達された方々は次のとおりです。

前田地区 (二十九名)

佐藤 広治 鶴田 亀治

福田 久治 新丁 久雄

金 与之助 本城 運動

金 彦治 キュ

石崎 太七 ツネ

石崎 末吉 寄延 ヨコ

小林 繁三 浦田 リュ

柴田 繁治 大淵 隆男

佐藤 林治 鶴田 国男

田牧 喜助 大杉 勝波

橋岡 喜助 長野 トシエ

柳山 岩治 浦田 ミチ

久住 民治 ク 伝治

秋元 勝雄 ク 神成小太郎

赤石作太郎 新丁 イクエ

松橋文一郎 川向 文之助

高杉 民蔵 浦田 栄蔵

石崎 八夫 寄延 サヨ

高岡 福治 新丁 ハル

工藤三郎 寄延 善一郎

渡辺 勇蔵 大淵 トメ

佐藤 文治 佐藤 フミ

黒田藤之助 小又 トクエ

宮野為之助 冷水 頼一郎

庄司 照一 八幡森 久美治

庄司 作治 作右エ門

希望される方は、役場窓口で申込書用紙をもらい、必要事項を記載して提出ください。

一、対象住宅 御嶽住宅

二、募集戸数 一戸

三、申込期日 一月末日まで

一、見習員 十名

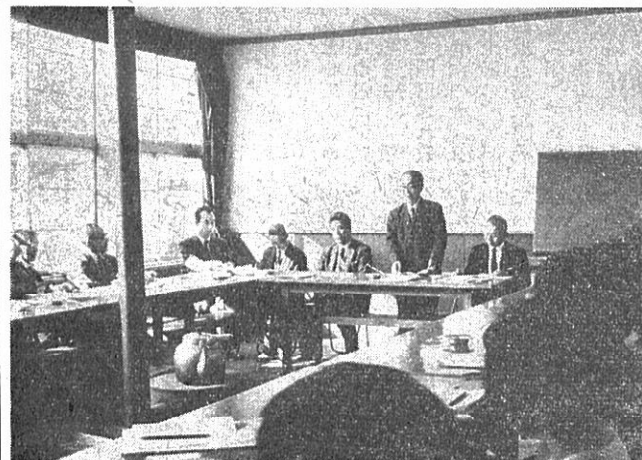
二、年齢 十五才〜四十五才女子

委細は森吉町役場出かせぎ相談所へご連絡下さい

女子工員急募!!

大塚刷毛製造KK

秋田工場



(12月9日米内沢公民館で行われた国民年金委員による協議風景)

成人の日と国民年金 一、二十才になると法律的に成人の日と国民年金の日でも、社会的にも成人として

昭和四十三年二月から七月までに発令がありました過さし大戦において散華された戦没者の遺族に対し、勲章並びに叙位の伝達式が去る十一月二十日午前十時役場会議室(米内沢地区)同日午後一時前田公民館(前田地区)で行なわれまし(伝達された方々は次のとおりです。

前田地区 (二十九名)

佐藤 広治 鶴田 亀治

福田 久治 新丁 久雄

金 与之助 本城 運動

金 彦治 キュ

石崎 太七 ツネ

石崎 末吉 寄延 ヨコ

小林 繁三 浦田 リュ

柴田 繁治 大淵 隆男

佐藤 林治 鶴田 国男

田牧 喜助 大杉 勝波

橋岡 喜助 長野 トシエ

柳山 岩治 浦田 ミチ

久住 民治 ク 伝治

秋元 勝雄 ク 神成小太郎

赤石作太郎 新丁 イクエ

松橋文一郎 川向 文之助

高杉 民蔵 浦田 栄蔵

石崎 八夫 寄延 サヨ

高岡 福治 新丁 ハル

工藤三郎 寄延 善一郎

渡辺 勇蔵 大淵 トメ

佐藤 文治 佐藤 フミ

黒田藤之助 小又 トクエ

宮野為之助 冷水 頼一郎

庄司 照一 八幡森 久美治

庄司 作治 作右エ門

希望される方は、役場窓口で申込書用紙をもらい、必要事項を記載して提出ください。

一、対象住宅 御嶽住宅

二、募集戸数 一戸

三、申込期日 一月末日まで

一、見習員 十名

二、年齢 十五才〜四十五才女子

委細は森吉町役場出かせぎ相談所へご連絡下さい

女子工員急募!!

大塚刷毛製造KK

秋田工場

